

YIA 会員だより 2017年10月号

発行 ; 吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

ホームページURL <http://www.teu.or.jp/kamojima/yia/>



10月度 定例活動/他

10月度 理事会

日時:10月28日(土曜日) 15時～

場所:文化研修センター

◆英会話教室 ネイティブとしゃべってみましょう!

☆鴨島教室 毎週木曜日19:00～21:00

初心者クラス・中級者クラス

講師:ミシェルさん・ヌーさん(新ALT)
文化研修センター2F.

担当:後藤田さん ☎ 24-5234

☆山川教室 毎週火曜日19:00～21:00

初心者クラス19:00～19:30

山川公民館 講師:タマラさん

担当:長井さん ☎ 42-4839

☆川島教室 毎週水曜日19:00～21:00

初心者クラス19:00～20:00

川島東公民館、講師:ジョンさん

担当:井口さん ☎ 24-5365

◆日本語教室

【村上教室】 ☎ 24-8018

＜鴨島 文化研修センター＞

毎週日曜日 13:30～15:30(初級日本語講習)

講師:村上さん、萩森さん、白岡さん、井口さん、
市原さん

毎週金曜日 17:00～19:00 中級(N2レベル)

19:00～21:00(職業日本語講習)

【手塚教室】 ☎ 24-1284

＜市場町コミュニティセンター＞

毎週日曜日 10:00～12:00

＜高川原公民館＞

毎週日曜日 13:30～15:30

◆日本文化体験(随時)

ぞめき&長唄 弾きま専科(三味線の指導など)

わさよし

講師:松永 和三 喜美さん(乾Tel:0883-24-1254)

【9月の活動報告】

◆ 鴨島第一中学校国際理解講座に参加して

井口和代

9月26日、吉野川国際交流協会の副会長新居さんの講話を参観させて頂きました。場所は鴨島第一中学。「総合学習」の時間でのプレゼンテーションです。テーマは「グローバル化とコミュニケーション」。講話をきく生徒さんは17人の1年生です。

世の中はどんどんグローバル化していっています。グローバル化とは地球規模で物やお金が動くことだそうです。それを講師は身近なダイソーの商品で説明されていました。それらは全て外国で作られています。ある物はタイで。ある物はベトナムでと。



故にこれからの時代は、外国人とのコミュニケーションが

もっともっと大事になってくる。そしてその、コミュニケーション力というのは、言葉だけではなく、「ジェスチャーや表情も含まれるのです」と強く説かれていました。私はなるほど、と思いました。「おはよう」というだけではなく、目を見て笑顔で言う。それが大事。とても分かりやすかったです。その他にも生徒さん達に、外国のお金や自身のパスポートを見せて興味を持たせていました。パスポートは私も子供の頃とても憧れました。同じ様に一中の生徒さん達も皆、真剣にみていました。私はそれを見て少し胸が熱くなりました。きっと色々な事を夢見ているんだろうな、と思って。

講師の新居さん、本当に貴重な時間をありがとうございました。皆とても、いい刺激になったと思います。

新企画 遍路道ウォーク

行程:藤井寺～石鎚山～風景発心の地～長戸庵～
端山休憩所～藤井寺

日時:10月22日(日)午前9時～午後4時

集合場所:市役所前 参加者募集中!

(詳細は添付チラシをご覧ください。)

2017年度 国際交流バスツアー

日程:11月12日(日)

参加費用:3,000円

旅行先:神戸方面 人数:50名程度

ご参加をお待ちしております。

◆ 新理事紹介コーナー

真鍋 佳子

趣味は旅行。世界遺産の地を訪れると、国内では、経験できない体験や大自然、建物、人々とのふれあい等があり、心も体もリフレッシュできます。



6月の鴨島小学校の国際理解学習に参加しました。日本の未来を拓く子ども達に今必要なものは、自らの文化に誇りを持ちつつ相手の文化も尊重し、互いに学びあおとする開かれた心だと思いました。これからも国際理解学習を側面から支援したいと思います。

◆ モンゴル訪問記 市原百合子

日本人のルーツといわれるモンゴルに軽いあこがれを抱いていた。ふとした縁で親しく付き合うようになったモンゴル人女性が、一時帰国をすると聞いて、これ幸いと1週間のモンゴル旅行を実行した。

モンゴル3泊目に彼女の実家に泊めてもらう。近くの銭湯？でシャワーを浴びて、さっぱりしたところでご両親の家に。ウランバートル郊外にある一軒家だ。広い庭に花や野菜を、ハウスにはキュウリを栽培している。モンゴル人はキュウリが好物のようである。そういえば、草原での子どもたちのおやつはキュウリだった。

一部屋を使わせてもらい、洗濯機を使わせてもらった。水道設備がなく、給水所から水を運んでいるので恐縮。空気が乾燥しており、洗濯物は一晩できれいに乾いた。

4泊目は近くにある叔母さんの家(ゲル)に泊めてもらう。草原のゲルと違って立派な家具や冷蔵庫、IHヒーターを備えており、大型テレビでは日本語でNHKが見える。15歳の孫はスマホを駆使しており、Wi-Fiも使わせてもらった。叔母さんの希望により、彼には英語で話すことにし、英語・蒙古語の翻訳ソフトが活躍。立派なソファベッドを使わせてもらい、快適なゲル泊だった。

帰って間もなく、彼女から、日本語能力検定1級合格といううれしい知らせがあった。近々に我が家でお祝いをする予定である。



宿泊したゲル

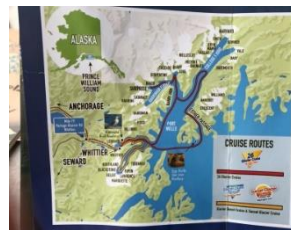


ゲルの中の様子

◆ 「アラスカ訪問記」

田村 実

2017年8月23日～26日、カナダバンクーバーで開催されたトーストマスターズの世界大会に参加。バンクーバーまで来ると、やはり



氷河を見たいという事になり、Vancouver - Seattle - Fairbanks と飛び、ここでレンタカーを借り、デナリ公園—アンカレッジWhittierと約800kmを走行。左ハンドル、



氷山の一角

右走行には少し慣れが必要でしたが、スマホのGPSのお陰で大した問題も無く運転。4泊という限られた日程の為、四国程の規模のデナリ公園とWhittierの氷河クルージングを主としました。デナリ

リでは、公園内専用の大型バスに乗り、約7時間、1年で約5ヶ月程しか姿を見せない空、山、川、鮮やかな植物、ムース等の動物、そして山頂の氷河に圧倒されました。これ以上は無いいという快晴(雨も多いが)にも恵まれ、北極の大自然と対話をし、友人ともなった一日でした。スプールの木々が茂る地域を延々と走ったが、アラスカは州全体でも徳島県程の人口、従って米国本土の様な高速道路は無く、大体90km前後の走行。アンカレッジでは、ホテルをキャンセルし、airb&bで、民泊を体験。料金は、14,000円程/泊と、安くは無いが、良い経験に。

アンカレッジから、東へ約80km、アラスカ鉄道と時間差で共同通行のトンネルを抜けるとWhittier。5時間程で10余りの氷河を見て廻るクルージング船に乗るが、あいにくの雨と風で、なかなか厳しい環境であったが、ほぼ満席(料金は1.8万円)。外気は5℃位、氷河迄30mの距離にも接近、その巨大さ、美しさ、エネルギーに圧倒され、動画もかなり撮った。改めて、自然の偉大さ、パワーを体感し、自身の体にも高揚を感じた。日本が好きで、日本語も学んでいる航海士と操縦室で話しながら、氷河を堪能した。



Denali Park

ご意見・情報などをお寄せください。

広報部長 長井まで(TEL090-1575-8634)

eメール; yoshino_kokusai@yahoo.co.jp